

地震が発生した時は まず身を守ろう



大規模地震発生！そのときどうする？

地震発生・緊急地震速報

①安全確保行動(シェイクアウト)まずは身を守る！



※ただし、家屋の倒壊や危険物の転倒・落下等の危険性が高い場合は、屋外等の安全な場所に速やかに避難してください

○民間住宅の耐震化を支援します

昭和56年5月以前に建てられた住宅については、いわゆる旧耐震基準で建てられたため、大規模地震の際に倒壊の危険性が高くなっています。東かがわ市では、旧耐震基準により建てられた住宅の耐震診断と耐震化の補助がありますので、都市整備課へお問い合わせください。

地震直後の行動

揺れが収まる

②火の始末と出火防止

- ・台所で火を使っていたら、揺れが収まってから火を消す。
- ・ガスの元栓を閉める。
- ・ブレーカーを落とし、可能な限りコンセントを抜く。

③ドアや窓を開けて逃げ道を確保

④家族の安全を確認・避難の準備

家族の状況を確認。慌てず落ち着いて、みんなで避難の準備。

⑤テレビ、ラジオ、スマートフォンなどで正しい情報を確認

※この後、家屋倒壊や津波などの危険が予想される場合は、すぐに避難。

家が壊れておらず住める
家が多少損壊しているが余震にも耐えられる

いいえ

安全な場所に避難

はい

自宅に留まる

(プライバシーが守られる)

【地震津波に関する Q & A】

Q 1 : 津波から避難する場合どうすればいいの？

A 1 : 南海トラフ巨大地震による津波の到達時間は、地震発生から1時間23分あるので慌てず5ページに記載している高さ(最高津波水位)か、津波ハザードマップの7ページから9ページに記載している浸水エリアをふまえて、できるだけ高い所に避難してください。

Q 2 : 必ず避難場所に避難しなければいけないですか？

A 2 : 必ずしも避難場所に避難する必要はありません。地震の場合、家の損壊が無く余震にも耐えられると判断した場合は、自宅のほうがプライバシーが守られますし、必要な時に避難場所に行き、情報や食糧を調達してください。

Q 3 : 南海トラフ地震時に市職員は、広域避難場所に来て避難所運営してくれるの？

A 3 : 市職員も被災し、限られた人員で災害対策本部運営に従事することが予想されます。従って市職員が配置出来ないことを想定して、自治会長や自主防災組織会長を中心に広域避難場所の運営をお願いします。

Q 4 : 南海トラフ巨大地震による強い揺れはどの位続くのですか？

A 4 : 南海トラフ巨大地震は強い揺れが1分以上続きます。